



市民活動を応援するページ.....

市民活動紹介

あかばねひらがなの会

～地域に暮らす外国人をサポートし、多文化交流を深めます～

「あかばねひらがなの会」は、田原市内や近郊に住んでいる外国人の方と多文化交流をしている団体です。簡単な会話から文法までを勉強する「日本語教室」と、地域や日本の文化をもっと知ってもらうために、絵画や陶芸、料理などを学ぶ「創作教室」を開催しています。また、月刊「あかばねひらがなしんぶん」も発行して地域の方々との交流も進めています。

今年8月末には、地元の陶芸愛好者と一緒に焼き上げた1000個の湯飲み茶碗を、宮城県の南三陸町と七ヶ浜町に贈りました。その茶碗には、被災地の人々に笑顔が一日でも早く戻ることを祈りながら、一つ一つにメッセージとお茶の葉を添えて包みました。

ほかにも、市内の各種イベントに参加したり、お楽しみ会や見学会などを開催したりして、さまざまな場面で多文化交流を深めています。あなたも一緒に交流しませんか。お気軽にお問い合わせください。



▲「創作教室」の様子

●あかばねひらがなの会

代表・連絡先 中村都祁子（ときこ） ☎&☎45局 2377

【日本語教室】第2、4土曜日 / 13:30～15:00 / 赤羽根福祉センター

活動日 【創作教室】第3日曜日 / 13:30～15:00 / 赤羽根市民館

市民活動報告

渥美半島の里海を美しくする会



▲宇津江海岸の清掃風景

「私たちの里海を美しく！」

11月27日（日）、姫島漁港から夕陽が浜海岸までの約15 km、10か所の海岸で清掃活動を行いました。今回の活動には、市民など1200人以上の方にご参加いただきました。

この地方にも被害をもたらした台風12号（8月）と15号（9月）の影響で、海岸には多くのごみがたまっていました。参加した皆さんは、大量の流木やプラスチック類などの家庭ごみに驚きながらも、一斉にごみを拾い始めました。

大量の流木は、田原市土木協会の協力でダンプに積み込まれました。1時間半の清掃時間でしたが、皆さんの力でみるみるうちにごみが片付き、きれいな浜となりました。

これからもごみは渥美半島の海岸に打ち寄せますが、この清掃活動を継続することで、少しずつごみは減っていきます。私たちの住む渥美半島の里海を美しくするために、今後ともご理解とご協力をお願いします。

●渥美半島の里海を美しくする会 会長 赤尾昌昭

田原市民活動支援センター

<http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

■ NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。（毎週 木・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース）

■ このページおよび市民活動支援センターホームページに掲載する市民活動情報を募集しています。

● お問い合わせ： ☎22局 1111（内線812）※ 開設時間のみ ☎23局 0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp